

調 査 結 果

1. 人 口

C0101-1 人口総数及び増加数

大町市の平成 27 年人口は 28,041 人で、そのうち都市計画区域内の人口は 26,258 人（全人口の 93.6%）である。市の人口は平成 7 年から平成 27 年の 20 年間に 5,614 人減少、率で 16.7%減少している。

用途地域指定区域の人口は 13,760 人（全人口の 49.1%）で平成 7 年以降、引き続き減少している。

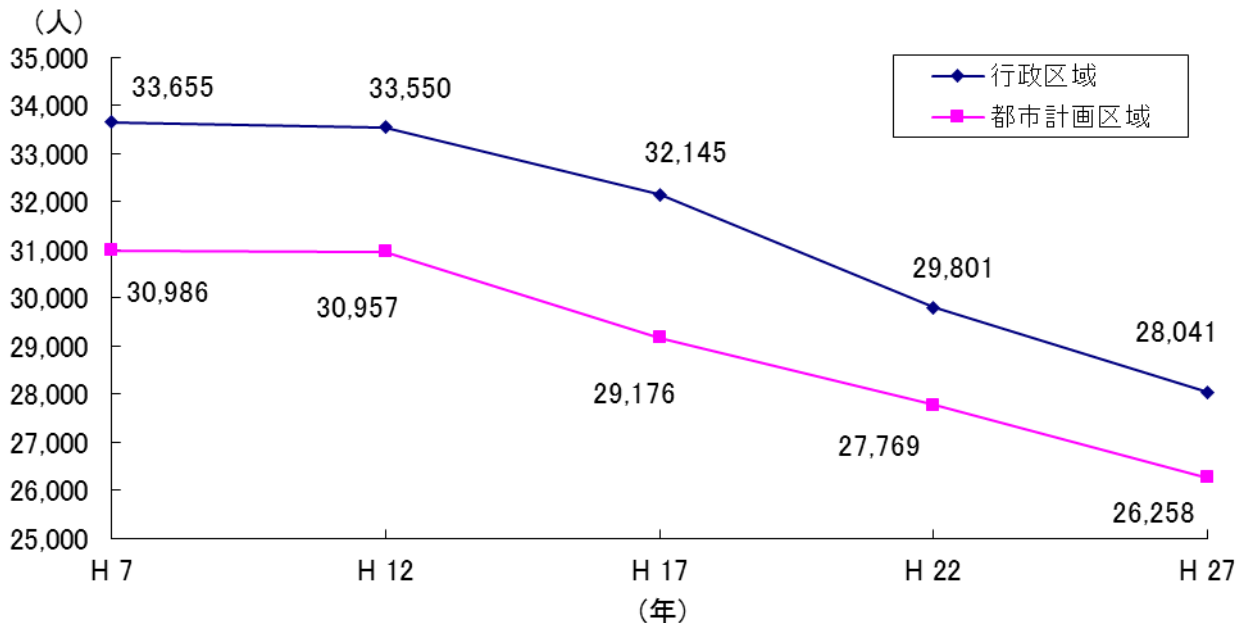
注 1) 平成 7 年から 17 年の値は、旧八坂村、美麻村を合算した値

表 C0101-1 人口総数及び増加数

資料：国勢調査

年次	行 政 区 域			都 市 計 画 区 域			用途地域指定区域		
	人口 (人)	5 年間の増減		人口 (人)	5 年間の増減		人口 (人)	5 年間の増減	
		人口 (人)	率 (%)		人口 (人)	率 (%)		人口 (人)	率 (%)
H 7	33,655			30,986			16,676		
H12	33,550	▲105	▲0.3	30,957	▲29	▲0.1	16,308	▲368	▲2.2
H17	32,145	▲1,405	▲4.2	29,176	▲1,781	▲5.8	15,771	▲537	▲3.3
H22	29,801	▲2,344	▲7.3	27,769	▲1,407	▲4.8	14,622	▲1,149	▲7.3
H27	28,041	▲1,760	▲5.9	26,258	▲1,511	▲5.4	13,760	▲862	▲5.9

図 C0101-1 人口の推移



C0101-2 年齢・性別人口

平成 27 年の性別人口は、総人口 28,041 人に対して男性 13,555 人（48.3%）、女性 14,486 人（51.7%）となっており、男女比は平成 7 年以降ほとんど変わっていない。また、年代別では 60 代が 16.7%で最も多く、次いで 70 代の 13.5%、50 代の 12.3%と続いているが、これからの時代を担う 10 代は 2,494 人（8.9%）、9 才以下は 1,781 人（6.4%）と、少子化によりいずれも 3,000 人に達していない。

平成 22 年から平成 27 年にかけての年齢階層別人口構成を見ると、生産年齢人口（15～64 歳）が 14,900 人で 2,006 人減（11.9%減）、年少人口（0～14 歳）が 3,030 人で 690 人減（18.5%減）、一方、老年人口（65 歳以上）は 9,766 人で 646 人増加（7.1%増）となっており、大町市についても高齢化が進んでいる。

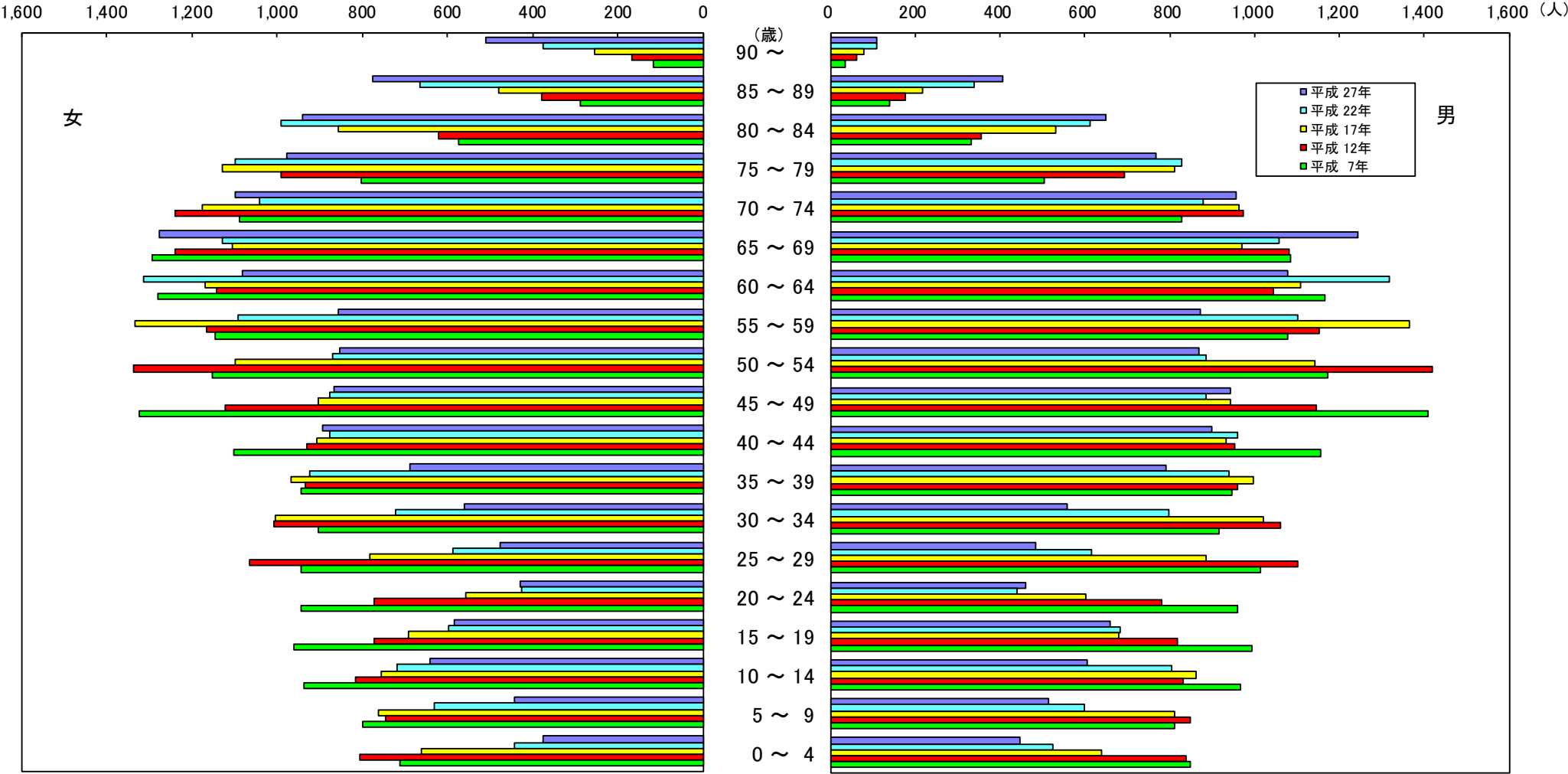
注 1) 平成 7 年から 17 年の値は、旧八坂村、美麻村を合算した値

表 C0101-2 年齢・性別人口

資料:国勢調査（単位：人）

年 齢 階 層	平 成 7 年			平 成 12 年			平 成 17 年			平 成 22 年			平 成 27 年			
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	
0 ～ 4	1,558	848	710	1,644	839	805	1,303	641	662	967	524	443	823	448	375	年少人口
5 ～ 9	1,610	812	798	1,593	848	745	1,571	811	760	1,230	599	631	958	516	442	
10 ～ 14	1,903	968	935	1,648	832	816	1,615	862	753	1,523	804	719	1,249	607	642	
15 ～ 19	1,953	994	959	1,589	818	771	1,373	681	692	1,281	685	596	1,245	661	584	
20 ～ 24	1,902	960	942	1,554	781	773	1,158	601	557	866	441	425	892	462	430	生産年齢人口
25 ～ 29	1,959	1,016	943	2,168	1,103	1,065	1,668	886	782	1,200	615	585	961	486	475	
30 ～ 34	1,818	917	901	2,070	1,062	1,008	2,023	1,021	1,002	1,521	799	722	1,117	559	558	
35 ～ 39	1,890	947	943	1,894	960	934	1,964	997	967	1,864	941	923	1,480	792	688	
40 ～ 44	2,258	1,156	1,102	1,883	955	928	1,839	934	905	1,835	960	875	1,790	898	892	
45 ～ 49	2,730	1,408	1,322	2,268	1,147	1,121	1,844	942	902	1,761	887	874	1,807	942	865	
50 ～ 54	2,322	1,172	1,150	2,757	1,421	1,336	2,241	1,143	1,098	1,757	887	870	1,721	868	853	
55 ～ 59	2,225	1,079	1,146	2,317	1,153	1,164	2,699	1,366	1,333	2,191	1,101	1,090	1,728	872	856	
60 ～ 64	2,444	1,166	1,278	2,186	1,044	1,142	2,277	1,110	1,167	2,630	1,318	1,312	2,159	1,078	1,081	
65 ～ 69	2,379	1,085	1,294	2,322	1,083	1,239	2,072	969	1,103	2,186	1,058	1,128	2,522	1,245	1,277	老年人口
70 ～ 74	1,916	829	1,087	2,299	973	1,237	2,140	964	1,176	1,921	881	1,040	2,054	958	1,096	
75 ～ 79	1,305	503	802	1,684	693	991	1,939	812	1,127	1,924	828	1,096	1,744	769	975	
80 ～ 84	905	331	574	978	357	621	1,386	531	855	1,601	612	989	1,590	650	940	
85 ～ 89	427	141	286	556	178	378	697	219	478	1,003	340	663	1,184	408	776	
90 ～	151	35	116	229	61	168	333	78	255	485	110	375	672	164	508	
年齢不詳	0	0	0	0	0	0	3	3	0	55	39	16	345	172	173	
総 計	33,655	16,367	17,288	33,550	16,308	17,242	32,145	15,571	16,574	29,801	14,429	15,372	28,041	13,555	14,486	

図 C0101-2 年齢・階層別人口構成比



C0102 D I D

人口集中地区（D I D）は、平成 27 年で面積 210.0ha、人口 5,503 人、人口密度 26.2 人/ha となっている。面積については平成 7 年をピークに、人口については平成 2 年をピークに減少傾向にある。人口密度については、昭和 55 年より減少傾向が続いている。

表 C0102 D I D 資料：国勢調査、大町市都市計画マスタープラン策定(改定)業務 資料編

	人口集中地区			用途地域指定区域		用途地域指定区域に 対する比率	
	面 積 (ha)	人 口 (人)	人口密度 (人/ha)	面 積 (ha)	人 口 (人)	面積ベース (%)	人口ベース (%)
昭和 55 年	220.0	9,201	41.8	838.0	19,806	26.3	46.5
昭和 60 年	220.0	8,426	38.3	838.0	19,182	26.3	43.9
平成 2 年	270.0	9,691	35.9	838.0	18,664	32.2	51.9
平成 7 年	270.0	9,318	34.5	838.0	16,676	32.2	55.9
平成 12 年	256.0	8,029	31.4	838.0	16,308	30.5	49.2
平成 17 年	255.0	7,535	29.5	838.0	15,771	30.4	47.8
平成 22 年	252.0	6,730	26.7	838.0	14,622	30.1	46.0
平成 27 年	210.0	5,503	26.2	838.0	13,760	25.1	40.0

C0103 将来人口

表 C0103-1 将来人口の推計（コーホート法）

資料: 国立社会保障・人口問題研究所HP

		平成 27 年			令和 2 年			令和 7 年			令和 12 年			令和 17 年			令和 22 年			令和 27 年		
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総数		28,041	13,555	14,486	26,042	12,569	13,473	24,055	11,588	12,467	22,131	10,625	11,506	20,215	9,675	10,540	18,299	8,727	9,572	16,466	7,837	8,629
年 齢 階 級 別	0 ～ 4	823	448	375	738	378	360	611	313	298	550	282	268	504	258	246	454	233	221	398	204	194
	5 ～ 9	958	516	442	830	447	383	740	376	364	614	312	302	553	281	272	508	258	250	459	233	226
	10 ～ 14	1249	607	642	969	530	439	832	456	376	741	383	358	615	318	297	555	287	268	511	264	247
	15 ～ 19	1245	661	584	1,037	507	530	799	439	360	685	377	308	610	317	293	506	263	243	456	237	219
	20 ～ 24	892	462	430	896	459	437	742	349	393	568	302	266	486	259	227	434	218	216	361	181	180
	25 ～ 29	961	486	475	1,005	516	489	1,013	517	496	863	407	456	667	352	315	571	302	269	510	254	256
	30 ～ 34	1117	559	558	927	459	468	954	480	474	966	483	483	829	382	447	639	330	309	548	284	264
	35 ～ 39	1480	792	688	1,108	568	540	910	460	450	940	483	457	954	487	467	818	385	433	634	334	300
	40 ～ 44	1790	898	892	1,422	772	650	1,054	547	507	866	443	423	896	466	430	911	471	440	781	373	408
	45 ～ 49	1807	942	865	1,793	900	893	1,414	766	648	1,047	542	505	861	439	422	892	463	429	908	469	439
	50 ～ 54	1721	868	853	1,802	943	859	1,773	891	882	1,398	758	640	1,034	536	498	852	435	417	884	459	425
	55 ～ 59	1728	872	856	1,731	875	856	1,798	942	856	1,767	889	878	1,395	757	638	1,032	535	497	851	435	416
	60 ～ 64	2159	1078	1081	1,738	875	863	1,727	869	858	1,800	940	860	1,770	887	883	1,397	755	642	1,034	534	500
	65 ～ 69	2522	1245	1277	2,102	1027	1075	1,677	825	852	1,671	823	848	1,745	893	852	1,718	843	875	1,354	718	636
	70 ～ 74	2054	958	1096	2,392	1142	1250	1,969	929	1040	1,575	749	826	1,572	749	823	1,642	814	828	1,621	769	852
	75 ～ 79	1744	769	975	1,904	850	1054	2,202	1010	1192	1,815	822	993	1,458	667	791	1,460	669	791	1,528	730	798
	80 ～ 84	1590	650	940	1,497	626	871	1,626	690	936	1,900	832	1068	1,569	679	890	1,269	555	714	1,279	562	717
	85 ～ 89	1184	408	776	1,244	466	778	1,170	450	720	1,286	503	783	1,527	620	907	1,263	506	757	1,035	421	614
	90 ～	672	164	508	907	229	678	1,044	279	765	1,079	295	784	1,170	328	842	1,378	405	973	1,314	376	938
	不詳	345	172	173	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図 C0103-1 将来人口の推計（コーホート法）

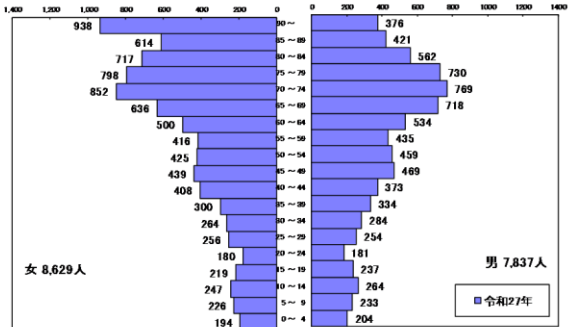
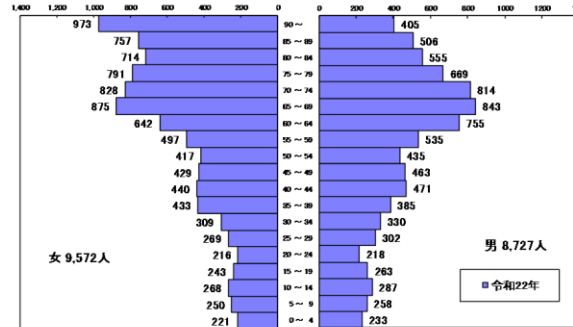
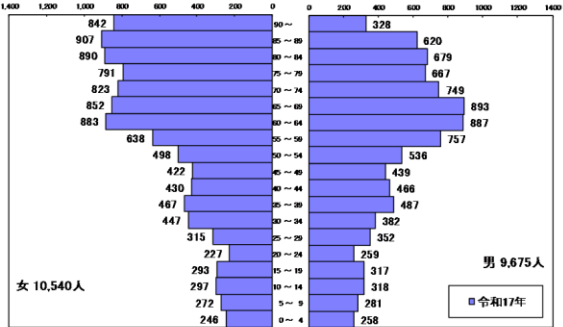
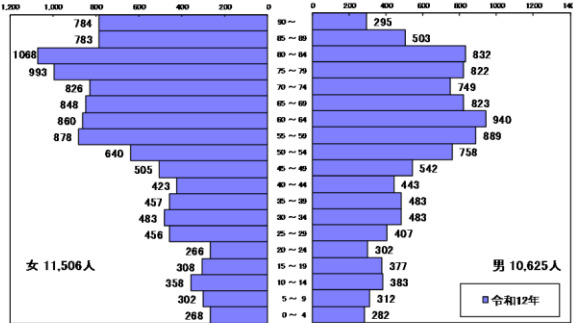
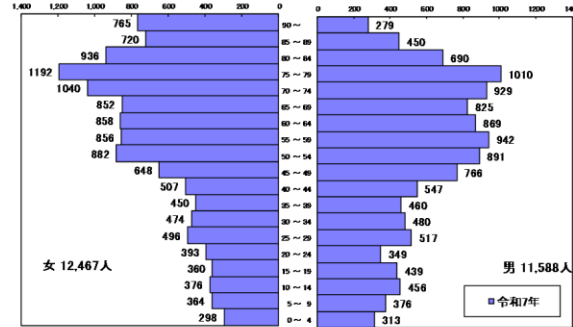
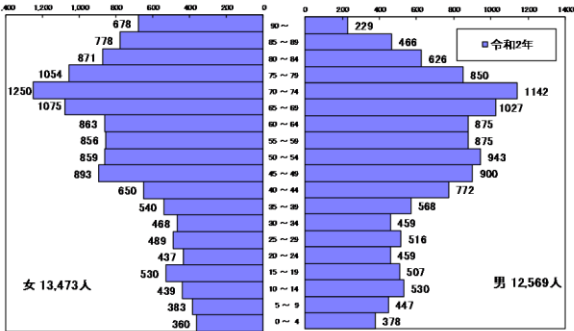
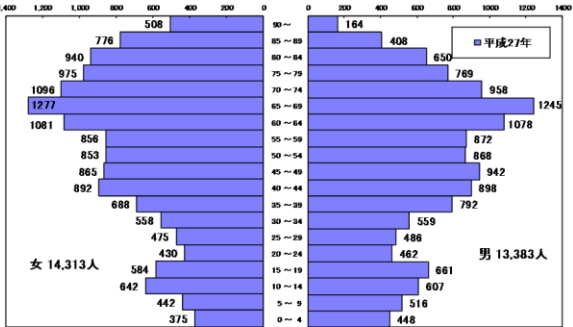
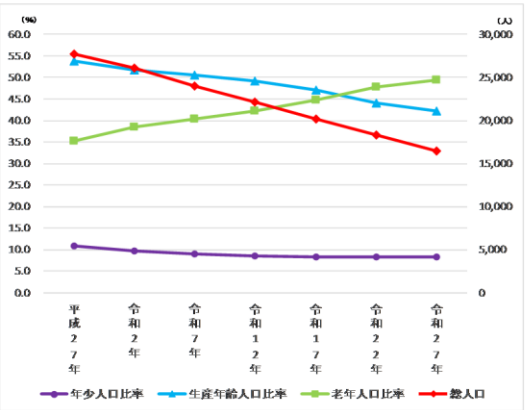


表 C0103-2 人口の将来見通し

行政区域		平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年 (10 年後)	令和 12 年	令和 17 年 (20 年後)	令和 22 年	令和 27 年 (30 年後)	備 考
	実 績 値	33,655 人	33,550 人	32,145 人	29,801 人	28,041 人							
区域	推計値(等差級数式)						26,637 人	25,234 人	23,830 人	22,427 人	21,023 人	19,620 人	
	推計値(等比級数式)						26,790 人	25,596 人	24,455 人	23,364 人	22,323 人	21,328 人	
	推計値(一次方程式)						26,953 人	25,458 人	23,963 人	22,468 人	20,973 人	19,478 人	
	推計値(二次方程式)						27,729 人	26,231 人	24,733 人	23,236 人	21,738 人	20,240 人	
	推計値(指数式)						27,122 人	25,841 人	24,620 人	23,457 人	22,349 人	21,294 人	
	推計値(コーホート法)						26,042 人	24,055 人	22,131 人	20,215 人	18,299 人	16,466 人	
都市計画区域		平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年 (10 年後)	令和 12 年	令和 17 年 (20 年後)	令和 22 年	令和 27 年 (30 年後)	備 考
	実 績 値	30,986 人	30,957 人	29,176 人	27,769 人	26,258 人							
区域	推計値(等差級数式)						24,692 人	23,126 人	21,560 人	19,994 人	18,428 人	16,862 人	
	推計値(等比級数式)						24,856 人	23,529 人	22,274 人	21,085 人	19,959 人	18,894 人	
	推計値(一次方程式)						24,665 人	23,115 人	21,565 人	20,015 人	18,465 人	16,915 人	
	推計値(二次方程式)						24,713 人	23,162 人	21,612 人	20,061 人	18,511 人	16,826 人	
	推計値(指数式)						24,868 人	23,552 人	22,306 人	21,127 人	20,009 人	18,951 人	
	推計値(コーホート法)						—	—	—	—	—	—	
用途地域指定区域		平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年 (10 年後)	令和 12 年	令和 17 年 (20 年後)	令和 22 年	令和 27 年 (30 年後)	備 考
	実 績 値	16,676 人	16,308 人	15,771 人	14,622 人	13,760 人							
区域	推計値(等差級数式)						12,911 人	12,062 人	11,213 人	10,364 人	9,515 人	8,666 人	
	推計値(等比級数式)						13,002 人	12,286 人	11,610 人	10,971 人	10,367 人	9,796 人	
	推計値(一次方程式)						12,927 人	12,052 人	11,177 人	10,302 人	9,427 人	8,552 人	
	推計値(二次方程式)						13,088 人	12,208 人	11,329 人	10,450 人	9,571 人	8,691 人	
	推計値(指数式)						13,028 人	12,287 人	11,589 人	10,930 人	10,308 人	9,722 人	
	推計値(コーホート法)						—	—	—	—	—	—	

※ 平成 7 年から 17 年の値は、旧八坂村、美麻村を合算した値。

※ コーホート法：国立社会保障・人口問題研究所 2018 年 3 月より

人口の推計

令和 27 年を目標年次に人口を推計する。(行政区域)

推計は次の方法で行うこととする。

延長法による推計

延長法による人口予測

(イ)等差級数式 (H7～H27 人口を基礎)

計算式 $P = P_0 + n r$

P: 将来人口

P₀: 基準年次の人口 (H27、28,041 人)

n: 基準年次

r: 平均的人口増加数

計算 H7 = 33,655 人、H27 = 28,041 人

$$28,041 - 33,655 = -5,614$$

$$-5,614 \div 20 = -280.7 (= r)$$

これにより、

$$28,041 + \{ 5 \times (-280.7) \} = 26,637 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 2 年}$$

$$28,041 + \{ 10 \times (-280.7) \} = 25,234 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 7 年}$$

$$28,041 + \{ 15 \times (-280.7) \} = 23,830 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 12 年}$$

$$28,041 + \{ 20 \times (-280.7) \} = 22,427 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 17 年}$$

$$28,041 + \{ 25 \times (-280.7) \} = 21,023 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 22 年}$$

$$28,041 + \{ 30 \times (-280.7) \} = 19,620 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 27 年}$$

(ロ)等比級数式 (H7～H27 人口を基礎)

計算式 $P = P_0 (1+r)^n$

P: 将来人口

P₀: 基準年次の人口 (H27、28,041 人)

n: 基準年次

r: 平均的人口増加数

計算 28,041 = 33,655 × (1 + r)²⁰とすると、

$$(1 + r)^{20} = 28,041 \div 33,655$$

$$= 0.83319$$

$$\log 0.83319 = 20 \log (1 + r)$$

$$1 + r = 0.99092$$

$$r = -0.0091$$

これより、

$$\begin{aligned}
 28,041 \times \{ 1 + (-0.0091) \}^5 &= 26,790 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 2 年} \\
 28,041 \times \{ 1 + (-0.0091) \}^{10} &= 25,596 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 7 年} \\
 28,041 \times \{ 1 + (-0.0091) \}^{15} &= 24,455 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 12 年} \\
 28,041 \times \{ 1 + (-0.0091) \}^{20} &= 23,364 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 17 年} \\
 28,041 \times \{ 1 + (-0.0091) \}^{25} &= 22,323 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 22 年} \\
 28,041 \times \{ 1 + (-0.0091) \}^{30} &= 21,328 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 27 年}
 \end{aligned}$$

(ハ)一次方程式 (最小二乗法) (H7～H27 人口を基礎)

計算式 $y = a x + b$

$$\left(\begin{array}{l} y = \text{将来人口} \\ x = \text{基準年次からの経過年数} \\ a = \Sigma xy \div \Sigma x^2 \\ b = \Sigma y \div n \quad (n: \text{年数}) \end{array} \right)$$

計算

年次	n	X	Y	x ²	xy
H 7	0	-10	33,655	100	-336,550
H12	5	-5	33,550	25	-167,750
H17	10	0	32,145	0	0
H22	15	5	29,801	25	149,005
H27	20	10	28,041	100	280,410
Σ	5		157,192	250	-74,885

表より、 $a = -74,885 \div 250$

$$= -299$$

$$b = 157,192 \div 5$$

$$= 31,438$$

これにより、

$$\begin{aligned}
 (-299 \times 15) + 31,438 &= 26,953 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 2 年} \\
 (-299 \times 20) + 31,438 &= 25,458 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 7 年} \\
 (-299 \times 25) + 31,438 &= 23,963 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 12 年} \\
 (-299 \times 30) + 31,438 &= 22,468 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 17 年} \\
 (-299 \times 35) + 31,438 &= 20,973 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 22 年} \\
 (-299 \times 40) + 31,438 &= 19,478 \text{ 人} \cdots \cdots \text{令和 27 年}
 \end{aligned}$$

(二) 二次方程式(最小二乗法) (H7～H27 人口を基礎)

計算式 $y = a x^2 + b x + c$

$$\left. \begin{aligned} y &= \text{将来人口} \\ x &= \text{基準年次からの経過年数} \\ a &= \{ n \sum x^2 y - \sum y \sum x^2 \} \div \{ n \sum x^4 - (\sum x^2)^2 \} \\ b &= \sum xy \div \sum x^2 \\ c &= \{ \sum y \sum x^4 - \sum x^2 \sum x^2 y \} \div \{ n \sum x^4 - (\sum x^2)^2 \} \\ &(\text{n:年数}) \end{aligned} \right\}$$

計算

年次	n	x	Y	x^2	xy	x^4	$x^2 y$
H 7	0	-10	33,655	100	-336,550	10,000	3,365,500
H12	5	-5	33,550	25	-167,750	625	838,750
H17	10	0	32,145	0	0	0	0
H22	15	5	29,801	25	149,005	625	745,025
H27	20	10	28,041	100	280,410	10,000	2,804,100
Σ	5		157,192	250	-74,885	21,250	7,753,375

表より、

$$a = \{ (5 \times 7,753,375) - (157,192 \times 250) \}$$

$$\div \{ (5 \times 21,250) - (250)^2 \}$$

$$\div 0.70888$$

$$b = -52,540 \div 250$$

$$= -299.54$$

$$c = \{ (157,192 \times 21,250) - (250 \times 7,753,375) \}$$

$$\div \{ (5 \times 21,250) - (250)^2 \}$$

$$\div 32,045$$

これにより、

$$(0.70888 \times 250) + (-299.54 \times 15) + 32,045 = 27,729 \text{ 人 } \cdots \cdots \text{ 令和 2 年 }$$

$$(0.70888 \times 250) + (-299.54 \times 20) + 32,045 = 26,231 \text{ 人 } \cdots \cdots \text{ 令和 7 年 }$$

$$(0.70888 \times 250) + (-299.54 \times 25) + 32,045 = 24,733 \text{ 人 } \cdots \cdots \text{ 令和 12 年 }$$

$$(0.70888 \times 250) + (-299.54 \times 30) + 32,045 = 23,236 \text{ 人 } \cdots \cdots \text{ 令和 17 年 }$$

$$(0.70888 \times 250) + (-299.54 \times 35) + 32,045 = 21,738 \text{ 人 } \cdots \cdots \text{ 令和 22 年 }$$

$$(0.70888 \times 250) + (-299.54 \times 40) + 32,045 = 20,240 \text{ 人 } \cdots \cdots \text{ 令和 27 年 }$$

(ホ) 指数式 (H7～H27 人口を基礎)

$$\text{計算式 } y = a \cdot b^x$$

$$\left. \begin{aligned} y &= \text{将来人口} \\ x &= \text{基準年次からの経過年数} \\ a &= 10^{\left(\frac{\sum \log y}{n} \right)} \quad (n: \text{年数}) \\ b &= 10^{\left(\frac{\sum x \cdot \log y}{\sum x^2} \right)} \end{aligned} \right\}$$

計算

年次	n	x	Y	x ²	xy	x ⁴	x ² y	logy
H 7	0	-10	33,655	100	-336,550	10,000	3,365,500	4.52705
H12	5	-5	33,550	25	-167,750	625	838,750	4.52569
H17	10	0	32,145	0	0	0	0	4.50711
H22	15	5	29,801	25	149,005	625	745,025	4.47423
H27	20	10	28,041	100	280,410	10,000	2,804,100	4.44779
Σ	5		157,192	250	-74,885	21,250	7,753,375	22.56938

表より計算すると、 $a = 31,359$ 、 $b = 0.990.37$

$$31,359 \times 0.990.37^{15} = 27,122 \text{ 人} \quad \dots\dots \text{令和 2 年}$$

$$31,359 \times 0.990.37^{20} = 25,841 \text{ 人} \quad \dots\dots \text{令和 7 年}$$

$$31,359 \times 0.990.37^{25} = 24,620 \text{ 人} \quad \dots\dots \text{令和 12 年}$$

$$31,359 \times 0.990.37^{30} = 23,457 \text{ 人} \quad \dots\dots \text{令和 17 年}$$

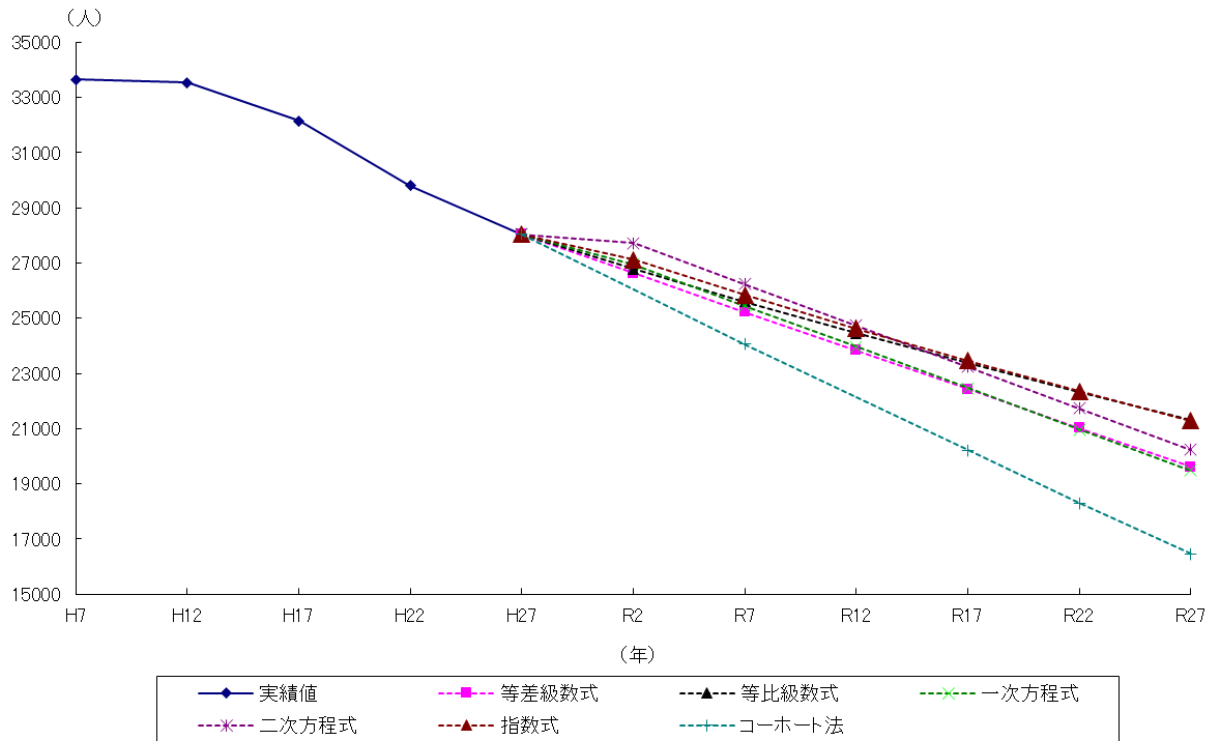
$$31,359 \times 0.990.37^{35} = 22,349 \text{ 人} \quad \dots\dots \text{令和 22 年}$$

$$31,359 \times 0.990.37^{40} = 21,294 \text{ 人} \quad \dots\dots \text{令和 27 年}$$

以上の結果を次の表にまとめる。

推計方法	R2	R7	R12	R17	R22	R27
(イ) 等差級数式	26,637	25,234	23,830	22,427	21,023	19,620
(ロ) 等比級数式	26,790	25,596	24,455	23,364	22,323	21,328
(ハ) 一次方程式	26,953	25,458	23,963	22,468	20,973	19,478
(ニ) 二次方程式	27,729	26,231	24,733	23,236	21,738	20,240
(ホ) 指数式	27,122	25,841	24,620	23,457	22,349	21,294
※ コーホート法	26,042	24,055	22,131	20,215	18,299	16,466

※ コーホート法 国立社会保障・人口問題研究所 HP より



令和 27 年推計値は(イ)(ハ)(ホ)の平均値を採用する。

行政区域

$(26,637 + 26,953 + 27,122) \div 3 = 26,904$ 人	令和 2 年
$(25,234 + 25,458 + 25,841) \div 3 = 25,511$ 人	令和 7 年
$(23,830 + 23,963 + 24,620) \div 3 = 24,138$ 人	令和 12 年
$(22,427 + 22,468 + 23,457) \div 3 = 22,784$ 人	令和 17 年
$(21,023 + 20,973 + 22,349) \div 3 = 21,448$ 人	令和 22 年
$(19,620 + 19,478 + 21,294) \div 3 = 20,131$ 人	令和 27 年

都市計画区域及び用途地域指定区域の人口推計は、行政区域と同じ計算式により推計を行う。

各係数は、下記表に代入した。

都市計画区域

年・月・	x	y	xy	x ²	x ² *y	x ⁴	logy	xlogy	n	x=logn	x ²
H12.10.1	-7.5	30,957	-232,178	56	1,741,331	3,164	4.49076	-33.68069	0		
H17.10.1	-2.5	29,176	-72,940	6	182,350	39	4.46503	-11.16256	5	0.69897	0.48856
H22.10.1	2.5	27,769	69,423	6	173,556	39	4.44356	11.10890	10	1.00000	1.00000
H27.10.1	7.5	26,258	196,935	56	1,477,013	3,164	4.41926	33.14446	15	1.17609	1.38319
合計		114,160	-38,760	125	3,574,250	6,406	17.81861	-0.58989	4	2.87506	2.87175

単純延長法による人口推計都市計画区域

各係数の算出

方法	式	r 又は P n	a	b 又は X	c 又は A	
等差式	(イ)	-313.2				H12～H27
等比式	(ロ)	-0.0109				H12～H27
1次式	(ハ)		-310	28,540		H12～H27
2次式	(ニ)		1.07227	-310.08	28,455	H12～H27
指数式	(ホ)		28,487	0.98919		H12～H27

以上の結果を次の表にまとめる。

推計方法	R2	R7	R12	R17	R22	R27
(イ)等差級数式	24,692	23,126	21,560	19,994	18,428	16,862
(ロ)等比級数式	24,856	23,529	22,274	21,085	19,959	18,894
(ハ)一次方程式	24,665	23,115	21,565	20,015	18,465	16,915
(ニ)二次方程式	24,713	23,162	21,612	20,061	18,511	16,826
(ホ)指数式	24,868	23,552	22,306	21,127	20,009	18,951
※ コーホート法	—	—	—	—	—	—

令和27年推計値は(イ)(ハ)(ホ)の平均値を採用する。

都市計画区域

$(24,692 + 24,665 + 24,868) \div 3 = 24,742$ 人 …… 令和2年
$(23,126 + 23,115 + 23,552) \div 3 = 23,264$ 人 …… 令和7年
$(21,560 + 21,565 + 22,306) \div 3 = 21,810$ 人 …… 令和12年
$(19,994 + 20,015 + 21,127) \div 3 = 20,379$ 人 …… 令和17年
$(18,428 + 18,465 + 20,009) \div 3 = 18,967$ 人 …… 令和22年
$(16,862 + 16,915 + 18,951) \div 3 = 17,516$ 人 …… 令和27年

用途地域指定区域

年月日	x	y	xy	x^2	x^2*y	x^4	logy	xlogy	n	$x=\log n$	x^2
H12. 10. 1	-7. 5	16, 308	-125, 070	56	938, 025	3, 164	4. 22209	-31. 66569	0		
H17. 10. 1	-2. 5	15, 771	-40, 770	6	101, 925	39	4. 21240	-10. 53100	5	0. 69897	0. 48856
H22. 10. 1	2. 5	14, 622	39, 428	6	98, 569	39	4. 19786	10. 49465	10	1. 00000	1. 00000
H27. 10. 1	7. 5	13, 760	109, 665	56	822, 488	3, 164	4. 16501	31. 23755	15	1. 17609	1. 38319
合計		60, 461	-16, 748	125	1, 961, 006	6, 406	16. 79736	-0. 46449	4	2. 87506	2. 87175

単純延長法による人口推計 用途地域指定区域

各係数の算出

方 法 式	r	a	b	c	
等 差 式 (イ)	-136. 9				H12～H27
等 比 式 (ロ)	-0. 00872				H12～H27
1 次 式 (ハ)		-175	15, 115		H12～H27
2 次 式 (ニ)		0. 5644	-175. 86	15, 216	H12～H27
指 数 式 (ホ)		15, 082	0. 98836		H12～H27

以上の結果を次の表にまとめる。

推計方法	R2	R7	R12	R17	R22	R27
(イ)等差級数式	12, 911	12, 062	11, 213	10, 364	9, 515	8, 666
(ロ)等比級数式	13, 002	12, 286	11, 610	10, 971	10, 367	9, 796
(ハ)一次方程式	12, 927	12, 052	11, 177	10, 302	9, 427	8, 552
(ニ)二次方程式	13, 088	12, 208	11, 329	10, 450	9, 571	8, 691
(ホ)指 数 式	13, 028	12, 287	11, 589	10, 930	10, 308	9, 722
※ コーホート法	—	—	—	—	—	—

用途地域指定区域

令和 27 年推計値は(イ) (ニ) (ホ)の平均値を採用する。

$(12, 911 + 12, 927 + 13, 028) \div 3 = 12, 955$ 人 …… 令和 2 年
$(12, 062 + 12, 052 + 12, 287) \div 3 = 12, 133$ 人 …… 令和 7 年
$(11, 213 + 11, 177 + 11, 589) \div 3 = 11, 326$ 人 …… 令和 12 年
$(10, 364 + 10, 302 + 10, 930) \div 3 = 10, 532$ 人 …… 令和 17 年
$(9, 515 + 9, 427 + 10, 308) \div 3 = 9, 750$ 人 …… 令和 22 年
$(8, 666 + 8, 552 + 9, 722) \div 3 = 8, 980$ 人 …… 令和 27 年

C0104 人口増減

人口増減の内訳の推移をみると、自然動態では平成 10 年以降は減少傾向が続いている。特に出生数の減少が著しく、平成 30 年には 138 人で平成 7 年の半数以下となっている。社会動態では、平成 10 年、12 年を除き減少しており、平成 13 年以降 200 人を超える人口減少が続いていたが、平成 25 年以降は転出者数の減少に伴い、社会動態による人口減少は緩やかになってきている。

自然動態、社会動態による人口増減を総合的にみても、大きな人口減少が平成 13 年から続いている。

注 1) 平成 22 年までは、県毎月人口異動調査、以降は住民基本台帳より

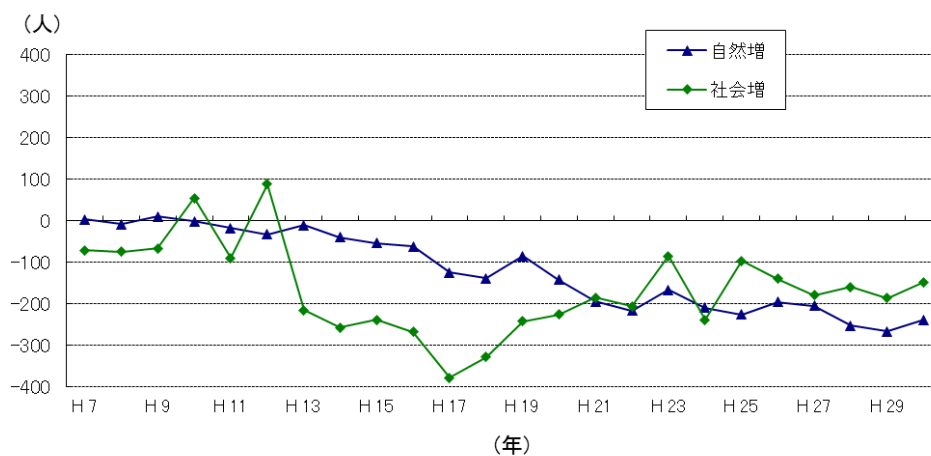
注 2) 平成 7 年から 17 年の値は、旧八坂村、美麻村を合算した値

表 C0104 人口増減の内訳

資料: 県毎月人口異動調査、住民基本台帳

項目	自 然 動 態			社 会 動 態			人口	項目	自 然 動 態			社 会 動 態			人口
年度	出生数	死亡数	自然増	転入数	転出数	社会増	増減	年度	出生数	死亡数	自然増	転入数	転出数	社会増	増減
H 7	308	304	4	1,374	1,445	▲71	▲67	H19	225	310	▲85	979	1,221	▲242	▲327
H 8	329	337	▲8	1,550	1,624	▲74	▲82	H20	209	351	▲142	971	1,197	▲226	▲368
H 9	330	319	11	1,548	1,614	▲66	▲55	H21	190	384	▲194	944	1,129	▲185	▲379
H10	306	307	▲1	1,515	1,460	55	54	H22	161	377	▲216	942	1,148	▲206	▲422
H11	305	322	▲17	1,491	1,581	▲90	▲107	H23	194	360	▲166	963	1,048	▲85	▲251
H12	300	333	▲33	1,620	1,531	89	56	H24	160	369	▲209	783	1,021	▲238	▲447
H13	293	303	▲10	1,523	1,738	▲215	▲225	H25	148	374	▲226	911	1,008	▲97	▲323
H14	286	326	▲40	1,364	1,621	▲257	▲297	H26	187	383	▲196	862	1,002	▲140	▲336
H15	260	314	▲54	1,259	1,497	▲238	▲292	H27	166	371	▲205	881	1,060	▲179	▲384
H16	259	321	▲62	1,271	1,539	▲268	▲330	H28	148	400	▲252	867	1,026	▲159	▲411
H17	222	346	▲124	1,083	1,461	▲378	▲502	H29	133	399	▲266	858	1,044	▲186	▲452
H18	221	360	▲139	1,062	1,390	▲328	▲467	H30	138	376	▲238	879	1,027	▲148	▲386

図 C0104 人口増減の内訳



C0105 通勤・通学移動

就業者の流出入別人口では、常住地による就業者は平成 7 年から 19.7%減少、従業地による就業者も 22.0%減少しており、共に通年的な減少傾向が長い間続いている。

また、流出就業者数、流入就業者数は平成 7 年から流出率で 6.0%増加、流入率では 8.0%増加しており、平成 7 年から平成 17 年までは流出率が流入率よりも高かった状況が、平成 22 年には、流出率と流入率で差がなくなっている。

流出先は安曇野市が最も多く 1,081 人 (7.1%)、次いで松本市の 675 人 (4.4%)、池田町の 491 人 (3.2%) となっている。また、流入先も安曇野市が最も多く 1,101 人 (7.7%)、次いで松川村の 905 人 (6.3%)、池田町 635 人 (4.4%) となっている。

通学者の流出入別人口では、平成 27 年の常住地による通学者は 1,166 人、従業地による通学者は 860 人となっている。流出率と流入率を比較すると流出率の方が高い。

流出先は松本市が最も多く 312 人 (26.8%)、次いで安曇野市の 112 人 (9.6%)、池田町の 57 人 (4.9%) となっている。また流入先では安曇野市が最も多く 129 人 (15.0%) 次いで松川村の 69 人 (8.0%)、白馬村の 57 人 (6.6%) となっている。

注 1) 平成 7 年から 17 年の値は、旧八坂村、美麻村を合算した値

表 C0105-1 就業者の流出・流入別人口

資料：国勢調査

	常住地による 就業者数	流 出		従業地による 就業者数	流 入		従 / 常 就業者比率
		就業者数	流出率		就業者数	流入率	
平成 7 年	人 18,907	人 4,037	% 21.4	人 18,367	人 3,387	% 18.4	% 97.1
平成 12 年	18,170	4,255	23.4	17,671	3,756	21.3	97.3
平成 17 年	16,655	4,175	25.1	16,385	3,905	23.8	98.4
平成 22 年	14,812	3,624	24.5	14,944	3,677	24.6	100.9
平成 27 年	15,184	4,161	27.4	14,329	3,788	26.4	94.4

	流 出 先														
	流出率第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成 7 年	安曇野市	人 1,109	% 5.9	松本市	人 847	% 4.5	池田町	人 469	% 2.5	白馬村	人 457	% 2.4	松川村	人 286	% 1.5
平成 12 年	安曇野市	1,241	6.8	松本市	837	4.6	池田町	537	3.0	白馬村	386	2.1	松川村	327	1.8
平成 17 年	安曇野市	1,243	7.5	松本市	834	5.0	池田町	512	3.1	松川村	381	2.3	白馬村	356	2.1
平成 22 年	安曇野市	1,178	8.0	松本市	716	4.8	池田町	499	3.4	松川村	359	2.4	白馬村	344	2.3
平成 27 年	安曇野市	1,081	7.1	松本市	675	4.4	池田町	491	3.2	松川村	405	2.7	白馬村	368	2.4

	流 入 先														
	流入率第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成 7 年	安曇野市	人 771	% 4.2	松川村	人 717	% 3.9	池田町	人 543	% 3.0	松本市	人 268	% 1.5	白馬村	人 236	% 1.3
平成 12 年	安曇野市	854	4.8	松川村	769	4.4	池田町	578	3.3	白馬村	328	1.9	松本市	309	1.7
平成 17 年	安曇野市	1,027	6.3	松川村	788	4.8	池田町	546	3.3	白馬村	411	2.5	松本市	297	1.8
平成 22 年	安曇野市	1,047	7.0	松川村	894	6.0	池田町	579	3.9	白馬村	409	2.7	松本市	320	2.1
平成 27 年	安曇野市	1,101	7.7	松川村	905	6.3	池田町	635	4.4	白馬村	404	2.8	松本市	325	2.3

- 注1 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業者数を言う。
 従業地による就業者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）就業者数を言う。
2. 流出率 = 流出就業者数 ÷ 常住地による就業者数 × 100
 流入率 = 流入就業者数 ÷ 従業地による就業者数 × 100
3. （従 / 常）就業者比率 = 従業地による就業者数 ÷ 常住地による就業者数 × 100
4. 平成2年から17年の値は、旧八坂村、美麻村を合算した値

図 C0105-1 就業者の流出・流入状況図（平成 27 年）

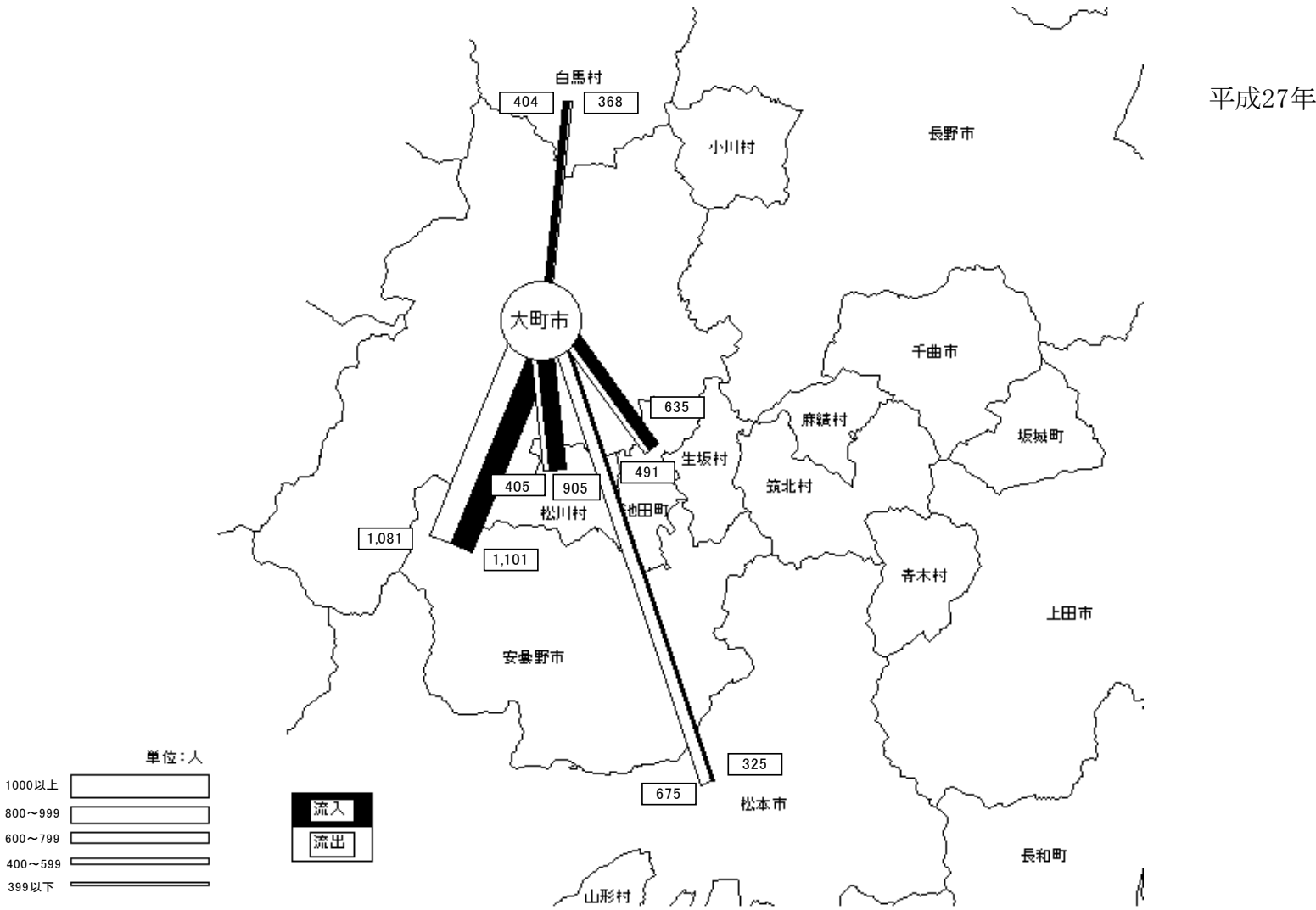


表 C0105-2 通学者の流出・流入別人口

資料:国勢調査

	常住地による 通学者数	流 出		従業地による 通学者数	流 入		従 / 常 通学者比率
		通学者数	流出率		通学者数	流入率	
平成 7 年	人 1,627	人 729	% 44.8	人 1,452	人 594	% 40.9	% 89.2
平成 12 年	1,399	660	47.2	1,114	375	33.7	79.6
平成 17 年	1,280	613	47.9	1,077	440	40.9	84.1
平成 22 年	1,179	581	49.3	1,030	425	41.3	87.4
平成 27 年	1,166	650	55.7	860	343	39.9	73.8

	流 出 先														
	流出率第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成 7 年	松本市	人 309	% 19.0	池田町	人 144	% 8.9	穂高町	人 107	% 6.6	白馬村	人 60	% 3.7	豊科町	人 36	% 2.2
平成 12 年	松本市	299	21.4	池田町	103	7.4	豊科町	79	5.6	穂高町	54	3.9	白馬村	38	2.7
平成 17 年	松本市	265	20.7	安曇野市	147	11.5	池田町	76	5.9	長野市	44	3.4	白馬村	23	1.8
平成 22 年	松本市	252	21.4	安曇野市	141	12.0	池田町	66	5.6	白馬村	45	3.8	長野市	22	1.9
平成 27 年	松本市	312	26.8	安曇野市	112	9.6	池田町	57	4.9	白馬村	43	3.7	長野市	22	1.9

	流 入 先														
	流入率第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成 7 年	穂高町	人 170	% 11.7	白馬村	人 110	% 7.6	松川村	人 109	% 7.5	池田町	人 109	% 7.5	小谷村	人 33	% 2.3
平成 12 年	白馬村	95	8.5	穂高町	82	7.4	松川村	79	7.1	池田町	53	4.8	小谷村	37	3.3
平成 17 年	安曇野市	127	11.8	白馬村	110	10.2	松川村	76	7.1	池田町	56	5.2	小谷村	33	3.1
平成 22 年	安曇野市	156	15.1	池田町	85	8.3	松川村	79	7.7	白馬村	75	7.3	小谷村	22	2.1
平成 27 年	安曇野市	129	15.0	松川村	69	8.0	白馬村	57	6.6	池田町	43	5.0	小谷村	34	4.0

- 注1 常住地による通学者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）通学者数を言う。
 従業地による通学者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）通学者数を言う。
2. 流出率 = 流出通学者数 ÷ 常住地による通学者数 × 100
 流入率 = 流入通学者数 ÷ 従業地による通学者数 × 100
3. (従 / 常)通学者比率 = 従業地による通学者数 ÷ 常住地による通学者数 × 100

図 C0105-2 通学者の流出・流入状況図（平成 27 年）

